

資料

1 自由記述回答

行政	全般	市民と行政が話し合いをする場が必要である。	
		無駄の削減が必要である。	
		市政でやるとこまでやって、どうしてもという説明があれば市民も納得すると思う。	
		本当に困っている人には手を差しのべず、(聴覚)障害ではない人たちに税金を使って助けたいと感じる。市民にやさしくなければ良いまちとはいえない。	
		総合計画10年は長い。(5年程度が良い、社会情勢の変化に対応できるのか疑問がある)	
		高齢化社会まで充実して暮らせる芦別にしてほしい。	
		まちづくりは人である。	
		コンパクトなまちづくりを望む。	
		合併でなく近隣市町村が協働で行政事業を行うべきである。	
	向こう三軒両隣のような人情味があって互いに助け合うことが「まちづくり」の基本である。		
	合宿	合宿誘致の推進が必要である。	
	アンケート	アンケート結果を公表してほしい。	
	アイデア	芦別を良くする投書箱(私書箱)を設置することにより、公の場の発言よりも子供・大人が気軽に意見を伝えられると思う。	
		学生・各種団体から様々な案を提出・プレゼンをして、良いものは試験的にやってみることも良いと思う。	
市長	市長の給料も下げたほうがよい。		
市職員 (意識)	市職員は目と心を開き市民と共に努力してほしい。		
	市役所職員の意識改革が必要である。		
	市職員・議員等々、市民の代表であることを認識し、ボランティア精神で望んでほしい。		
市職員 (人数・給与)	市職員の給与削減(人口に対して多い、赤平30%削減なのだから芦別ももう少しやってもいいのでは、30%カットしても民間より高い、部長職廃止)	6	
	市職員の人数を減らしてほしい。	4	
市職員 (態度)	市民一人ひとりが参加する場所を確保してほしい。		
	市職員の対応が悪いと思う。 市職員の勤務態度の改善が必要である。(税金で生活しているので腰入れて仕事してほしい) 公用車内でタバコを吸っている姿が見られる。		
市職員 (その他)	市議会議員を始め市職員、上部団体など、自分の役職が終了すれば良いの考えでは困る。		
	広報記載の募集を何度か受けたがすべて不合格(後でコネがあったなどと聞いた)。市に望むこと求めることは無駄である。		
	どんな小さな苦情・報告であっても、必ず上司と相談して対処するよう若手に指導してほしい。 聴覚認定の件でこんなに多い人数に気づかない市職員は、何を仕事しているのか考えさせられる。このことで市長はじめ職員減給はあたり前と思う。		
民生委員	民生委員が3~4人もかたまって廻っている姿が見られる。		
市議会議員	報酬	市議会議員の報酬を削減すべきである。	2
		日当制にすべきである。	2
		市議会議員が自ら進んで3割カットで頑張してほしい。	
	人数	市議会議員の定数を削減すべきである。	6
活動	議員報酬を半分に減らし、その経費を病院の医師を増やす事に使ってほしい。老年者が多いのに不便すぎると思う。		
	CW公園ボランティアデーに市議会議員は一人もいない。 市議会議員の働いているところが目に見えない。		

財政	財政運営	まちづくりも市の財政に比例すると思うので健全財政に力を入れてほしい。	
		健全財政こそがこれからのまちづくりに必要なことだと思う。	
		予算配分の大幅な見直しなど抜本的な対策が必要である。	
		借金をしないことが重要である。	
		夕張・赤平のようになることだけは避けたい。	
他市行政	合併	赤平市との合併に反対である。 市町村合併は市民のために慎重になるべきである。	
	情報交換	富良野との交流・情報がなく、もっと連携すれば新しい交流が生まれると思う。	
税金・料金	税金	税金が高いと思う。	6
		上下水道料金が高いと思う。	
		税金を節約すべきである。	
	その他	市民税を上げたり、有料化を増やすことで住みにくいまちを作り出す原因にもなっている。 適正な審査で生活保護世帯や非課税者の洗い出しをし、万人が平等な納税義務を果たしてほしい。 住みやすい環境というのは税金・水道代が安い、ゴミも当然お金がかからないことである。 給食費や保育料を払わない人からしっかり徴収すべきである。	
上下水道料	上下水道料金が札幌よりも格段に高いのは不思議に思う。		
景観	街	番地を書いている表札の字が消えているので改善してほしい。 駅前の景観を少し良くしてほしい。	
	空家・空き地	空き家・空き地対策に取り組んでほしい。(建物の老廃化や雑草による景観の悪化、屋根雪による事故の恐れがある)	4
通信・情報	ネット環境整備	ISDNの区域があるので、せめてADSLくらいのネット環境を広げてほしい。 高速インターネットエリア(光)を広げてほしい。	
	情報	月1回の広報紙の情報ではとても足りないと思う。	
観光・PR	観光	夏も冬も観光客であふれる芦別になるよう、もっと観光に力を入れるべきである。(有名なお店(飲食店)を作るなど)	
	食べ物	ガタンラーメンのPR活動を積極的に行ってほしい。	
	自然	「星がキレイ」というPR活動を積極的に行ってほしい。	
	その他	活発なまちのアピールが必要(富良野のようにまちをあげて何かを創りださないと発展していかない) 経済的にこのままではもっと人口減少するので、テレビでどんどんPRしてもらうべきである。 企業誘致、医療環境の充実、スポーツ振興などを通じて、全道的・全国的に知れ渡る「売り」をつくるのが大切である。 雪が積もったら各家の前に大小こだわらず雪だるまをつくる。 道内でも目立つ所をつくる(アピール、産地、商品の販売)。	
	地産地消	地産地消をもっと働きかける必要がある。	
イベント(祭り)	イベント	花火大会・各種公園まつりを継続してほしい。 中心部に人が集まるイベントを開催してほしい。(冬のお祭りが無く寂しい) 街の中が活気がないので、イベントなどの催しをやってほしい。 様々な行事を実施しているが、どの行事も中途半端になっているので、あまりいろいろな物にとびつかない方がよいと思う。	
	健夏山笠	「山笠」について、そのまちの歴史や規模(財政面も含め)にあったものにしないと、博多の真似事をしているようにしか見えない。大変な今こそ、日数を短くするか山笠自体をやめるなど市のお金を節約し、医療・福祉・教育など有効に使ってほしい。 健夏山笠には全く魅力を感じない。それよりキャンドルアートを大切にすべき。夏にイベントが多いので山笠をやめて産業フェスとキャンドルを同日にし、他市にもっと芦別の魅力を広めたいと思う。	
交通	便が悪い	交通の便が悪い。(通院など高齢者に負担) 買い物物の便が悪い。	5
	標識	中学校近くの住宅地の交差点が危険なので、一時停止の標識をつけてほしい。	
バス	福祉	福祉バス、生きがいバスを廃止すべきである。(福祉対策としてキラキラバス無料券の発行など)	3
	福祉バス	福祉バスの有料化(100円など小額負担で福祉センターまで来れるのなら惜しまない)	2
	キラキラバス	キラキラバスを朝夕の通院・通勤・通学時間対の増便してほしい。(冬期間は今の収容人数では対処できないので対策を示してほしい) キラキラバスは乗り降りが不便になり残念。バスも小さくなり乗り心地が悪い。	

	スクールバス	空走りさせず、有効活用すべきだと思う。		
	その他	芦別駅前バスの待合所の整備、バスターミナルを確保してほしい。		
産業・雇用	農林業	もっと農林業に力を入れて仕事のない人々に適切に指導し、農業に力を入れられるような独自のものを考えなければ、人口は減る、税金は上がる、さらに人がいなくなると思う。 森林の生産、ものづくりなど、森の恵みを活用したまちづくりが良いと思う。 芦別には農地が沢山あり、気候にも恵まれているので農家が元気になってほしい。 北海道の中心である芦別に作物を集荷して食品加工するのも良いと思う。既存の企業を守り、農業を中心としてまちづくりをすべき。多様な作物を生産ブランド化すべき。 市内に農業後継者がいなくとも、全国に農業をやりたい若者は沢山いる。農業への法人の参入や他地域からの参入で活性化させることも良いと思う。 若い後継者が育たず、年寄り農業者が病気になれば農業経営が中断される。若い人が育つような芦別になってほしい。	3	
	地元企業	地元企業が元気になることを願う。 商店街がもう少しきれいで住みやすいまちになってほしい。 産業部門の企業・関係者に対し、商工会議所との連携をとり、自社の経営が成り立つよう努力させる必要がある。 地元商店などでインターネットを活用した情報商戦を行うべきである。 地元の企業家を発掘し、特徴ある企業を育てることも必要である。 人口減、商店閉店、企業倒産で今後の芦別がどうなるか心配である。 企業全体の地域への奉仕活動に対する認識も弱いと思う。		
	空き店舗	空き店舗・空き地対策が必要である。(目立って見苦しい、寂しい、旧産炭地区など) コンパクトなまちづくりを望む。 駅前商店街(中心市街地)の活性化が必要である		
	大きなデパート	中高生が遊べるような物を作ってほしい。 遊ぶ場所がない。		
	上芦別町	今井草笛店がなくなり車のない高齢者が困っている。店舗の利用を検討すべきである。 上芦別市街地には店やスーパーがないので、上芦別駅付近に1件でも整備してほしい。		
	雇用	働く場所がない。(魅力的な就職先がない) 安心して働ける(倒産の心配ない)会社を望む。 商店街の衰退著しく何か魅力あるまちづくりが必要である。 企業等働ける場所が一つでも多く増えることが必要である。 工業の事業所を増やしてほしい。 北日本精機に頼りすぎである。 50代の若い男女が働かないでいる。雇用できる仕事場があれば良いと思う。	3	
	雇用(若者)	若者が働ける場所の確保が必要である。(企業誘致・工場誘致)	15	
	企業誘致	企業誘致・雇用拡大が必要である。(活気のあるまちになる、元気になる) 芦別バイパス沿いに商業誘致、移転援助など主要道路の活性化を望む。 前進しない企業誘致を待って(市として)枯れるより、今出来ることから前進してほしい。	3	
	道路	必要	上芦別営林署官舎横の道路は必要なのか疑問である。	
		ゴミ・雑草	歩道の徹底した草むしりを行う。 道路の端に犬のフン、ゴミがあり、雪解けになるとひどい。	
		舗装等	道路のつぎはぎや凹凸が気になる。 上芦別地区の下水道あと道路が下がったり舗装がわれたり、身体の不自由な人には非常に危険である。 三角山町内(西田商店)前の交差点の四つ角を広げてほしい。 下水道工事や道路工事、本当に必要かどうか考えてほしい。	2
		国道452号	旭川空港までの道路を早期開通してほしい。(国道452号の早期開通)	
街路樹		除雪の邪魔になる街路樹の見直しが必要である。(管理費の無駄)		
雪	除雪	公園の周りに雪を投げる人達がいる。(周りのフェンスが曲がってしまう) 個人で除雪を頼んで(月ぎめ)除雪したあとに、除雪車による雪がどっと入るのは何とかならないか。		
	障がい者 生活保護等	認定証を返上するだけでなく、過去から受けた金額を全て返金すべきである。(障害年金も返却、今後二度と起こらないよう名前の公表など) 福祉を食い物にした市民がいた事に驚きと怒りを感じている。障がい者と健常者が寄り添って生きる市政を望む。	3	

	生活保護等	生活保護をうけている人の生活をもう少し突っ込んで調べたり指導すべきである。国民年金よりいいのはおかしい。医療費・交通費も払わすべきである。 生活保護者になると何々を負担しなくても良いのか周知すべきである。	2
	目の見えない人	同居家族がいるのに、ごみ出しは混合ゴミで可となっている。	
	白蠟病患者	病院帰りの居酒屋立ち寄りしている。もう一度見直ししてほしい。	
施設	福祉センター	1階和室大広間の利用日数や利用時間を減らすべきである。	2
	宿泊交流センター	利用者はマナーを守るべきである。(夜遅くまで騒いでうるさい。雪を山にして置いていく)	
	三段滝	三段滝トイレの汚れが目立ち、ゴミも捨てられとても汚く市民として恥ずかしい。	
	芦別温泉	芦別温泉を廃止し、星遊館一つに統一すべき。	
	駅	駅舎を建替えるべきである。	
	その他	頭の体操、手先・頭を使う娯楽の場所が(気軽に利用できる所)あればと思う。 各種施設の閉鎖を検討しているが、利用している人の意見を聞いて最良の形で運営できるよう望む。 バリアフリー&エコタウン構想～頼城地区の自然と土地を活用し、福祉医療において施設を作ってはどうか。(施設の光熱費に太陽熱を利用する循環システムを構築) 新たに何かを作るのではなく、今ある設備や環境をもっと活かすことを考えた方が良い。 公共施設(病院・市役所・図書館など)の室温が高すぎるので設定温度を下げるべきである。	
自然	自然	芦別の大自然はいつまでも大切にしてほしい。(子孫に残すこと) 芦別は自然が豊かでとても住みやすいと思う。 観光やイベントを増やすより、地道に自然を活かしたのものや、遠回りでもまち全体、自然を通り、見るだけのものでも良いと思う。大事なものはそのまま残し、悪い部分は変えていく事を頑張って進めてほしい。 自然を活かし、新しいもの(箱物)でなくこれからはメンテナンスが重要である。	2
	花	町内において、まち中の空き地に多年草の花(コスモスなど)を植え、花いっぱいのもちづくりを進めてはどうか。	
	住み良い	自然の豊かさや住みやすさ、人の優しさがあふれるところが芦別のいい所と市民皆が思っているはず。 市民の住み良いまちになっていくよう願う。	
環境	きれいな町	徹底してまちの清掃をする。(市民全体一丸となって) 市民1人ひとりが自分の地区の草刈除雪ほか地区で出来ることはすべきである。 市民1人ひとりがもっと気をつけてきれいな生活環境を守りたいと思う。 もう少しきれいに豊かでさわやかな芦別市であってほしい。「頭のかたい芦別だ」と言われないうようにしてほしい。	
	水路	某会社のペンキ類のたれ流し、夏場は異常な悪臭を放っている水路を調査改善してほしい。	
	その他	環境保全への取り組みについて、全く取り組めていないと思った。今後自分にできる最低限のことを少しずつ行っていきたくと思う。 環境問題 農作物の農薬使用、食品添加物の使用、将来の子供たちの事を考え、学校給食に添加物を使用しない食品を考えてもらいたい。	
ゴミ	不法投棄	人目の届かないところで平然と繰り返される不法投棄を速やかに撤去してほしい。(明治から旭町の道路など)。	3
	分別	分別方法をもっとわかりやすく説明して欲しい。 分別の種類が多すぎて家に置く場所がない。(3種類くらいにできないものか) 分別されたゴミはちゃんとリサイクルされているのか。業者がどのように処理しているのかとても興味があり、そのような情報の周知や説明が必要だと思う。	
	ゴミ袋	ごみ袋も倍になると聞いているがなぜ倍なのか。 分別ごとに高い袋を使い収集車であっという間に潰され、どうしてこんな無駄なことをするのか。他市では、どうせ捨てるのでどんな袋でもよく、自分の名前シールを分別された物に貼って出している。他市のようにしてほしい。 袋は買え、分別は徹底しろと急かすすぎだと思う。	
	収集	一番ゴミのでお盆・正月にごみ収集してほしい。 新城のゴミ収集回数を増やしてほしい。(今は週一回) 市のゴミ収集車がペットボトルのラベルをつけたまま回収している。(取らなくてもいいのか)	
	回収ボックス	資源ごみの回収ボックスを設置すれば、各ゴミステーションのゴミが減ると思う。	
	リサイクル推進員	町内にいるごみ収集の責任者への説明会を行い、ごみ分別の方法を回覧することが必要である。	
ペット	フンの後始末	飼い主への徹底したマナー指導が必要である。 犬を連れてくる方はマナーを守らない。空き地を利用して「ドックラン」のようなものがあれば憩いの場になり、マナーも改善されると思う。	

公園	風景	子供の声が聞こえる公園を望む。 深水町の公園は子供が遊んでいる風景が少なく淋しい。元気な子供たちが集う環境になるといいと思う。	
	遊具・設備	公園の遊具等の管理が大切である。(ブランコ等を上にあげたり、外しておくなど) 時計のある公園については、時刻を合わせてほしい。	
	その他	旭ヶ丘公園は近隣市町村に無い施設で、無料で楽しめることは素晴らしいと思う。	
	カナディアンワールド公園	カナディアンの広い土地に高齢者が共同生活できる施設を造ってはどうか。 刑務所建立を国へ働きかけたり道立カジノを建設してはどうか。 冬はスノーモービル、夏はオートバイコースとして格安で貸してはどうか。 カナディアンワールドを再生してほしい。 跡地にリサイクル工場を作ってほしい。(缶・プラスチック・ペットボトル)	
人口	人口	年々少なくなる人をどうするのか。 人口減少にあるが、芦別だけはそれに歯止めがかかるようになればと思う。 人口減少により街の中が歯抜け状態になってきている。 人口減少により活気のないまちになってきている。	
	移住	定年退職後の移住受け入れ計画は止めた方が良い(一人もこないだろう)。それなら春から秋までの一時移住にすべきである。	
人材	人材銀行・育成	男女問わず人の持っている技術や知識など、他人のために出来るかたは「人材銀行」なるものをつくり、登録することはどうか。 行政や各機関のリーダーは、地域全体の総合的なプロデュースを心がける。 まちづくりは、町内会や団体ではなく市民が行う活動に着目して支援を行なうこと。市民活動サポートセンターなどで講習を行い活動を担う。サポーターの人材を育成すること。参加者とボランティアの募集により若者、高齢者が共に助け合い、まちづくり活動が良い方向に進んでいくと思う。	
老人	独居老人	独居老人が住みやすい芦別市になってほしい。 一人暮らしの老人が増えています。(特に女性が多い)	
	施設	長期入院の出来る老人病棟の確保など、1人暮らし老人のための施設を用意してほしい。 福祉に力を入れ、やさしいまちづくり施設だけでなく老人たちが気軽に集まれる場所や、老人が子どもたちの話相手になったり、親も安心して働けるそんな場所を作ってはどうか。 独居・身寄りのない老人になっても、心配なく暮らしていける自然に囲まれた明るい独居老人福祉村構想(村の中心にコミュニティハウス設置)福祉村ができると楽しいと思う。 年寄りに優しいまち構想～一人暮らし・同居など様々なスタイルで生活しているお年寄へサービス強化を行う。(例えば訪問医の充実・行政主義での給食サービス)	
	その他	お年寄をあたたかい目で見守ることの出来る街にしたい。 高齢化社会において、多方面でもっとお年寄にやさしいまちづくりを心がけてほしい。	
介護	老人介護	老人介護保険について不安がある。保険あって介護なしと思われる。老人が多いまちなので病院だけは確保してほしい。 老人介護の支援策を考えてほしい。	
	認定	介護保険の適切な運営とサービス望む。(認定調査の現状と認定結果に納得しない)	
	施設	施設入所の相談時の行政の適切な対策を望む。	
	その他	福祉事業の一つの案としてシルバーシティ構想はどうか。	
子ども・若者	子ども	中高生の服装のみだれが年々ひどくなっている。 いじめのない学校生活、庶民生活ができる「子どもの権利条約」を意識したまちづくりを望む。 市の土地が余っていたら子どもたちの自由に遊ぶ場所を作ってほしい。小中学校生の遊ぶ場所の少ない事が目につく。	
	若者	若年層が定着できる住みやすい環境のまち。 若い方々のためのまちづくり。若いお母さんが安心できるまちにしてほしい。 若者をまちに残す努力をしてほしい。(駅前如若者の集まる場所に変える)	2
子育て		子育てをしてこのまちで生活できるのか近い将来でさえ不安に思う。 子どもたちがスポーツや自然とふれあい、普通の生活のなかで社会を学べるような、教育次世代を担う子どもを育て、より良いまちを創ってほしい。 幼稚園・保育園を選ぶことができるよう数を増やしてほしい。	
学校・教育	学校	小学校もなくなるような地区はどうするのか。(野花南) 小学校を一つにして、施設を子どもと市民と交流の場として共有してほしい。	
	通学	通学路について不安が一番大きい。(街灯を増やしてほしい) 当下校時の送迎で、駐車帯に止める車が増えている。	
	教育	学校の教育の中からゴミや道路を清掃させたり家庭科の中で教えたり、小さい頃からの教育や先生の指導がなっていない。 子どもたちの教育環境の改善を望む。	

	教員	教員住宅の充実。一生懸命指導して下さる先生方が、いつまでも芦別で働きたいと思ってくれる点の一つになればよいと思う。 教育機関の充実を図り、有為有能な人材を育てる。(教職員のヘルプアップが第一)	
医療・健康	医療	医療の充実に力を注いでほしい。(両親の老後が心配、まちづくりは健康な体から) 一人身になった時の老後のことが気になる。(病院科目も少なく救急の時が心配) 市民が安心していられる医療体制を整えるべき。(特に小児科、耳鼻科)	4
	小児科	小児科医療の充実望む。子どもたちの急な病気に対応できる病院があると安心できる。 子ども専門の内科をつくってほしい。(耳鼻科・眼科)	3
	予防	病気になる前の予防医療という考えで、検診以前の健康を保つために老人が喜んで参加できるようなことを考えてほしい。 少子高齢化社会は、今後10～15年は続くものと思われるので、健康予防に関することを重視すべきである。	
市立 芦別病院	診療科目等	診療科目と診療時間を確保してほしい。 耳鼻科は月曜診察日だが、祝日で休診が多いので他の曜日にしてほしい。 小児科も週2回でいいので出張医を呼んでほしい。	
	医師	医師不足を解消してほしい。 優秀な医師を望む。(夜間外来の診察で変な診断をされた)	2
	看護師	看護師の患者に対する扱いがひどい。	
	その他	市立病院を充実させてほしい。 市立病院の評判がよくない。 市立病院バスは、市内の他の病院までも運行すべきである。	
元気(活気)	明るいイメージ	まちに元気がないので元気なまちづくりをする。 ひとが集まる場所にしてほしい。 活気あるまちづくりを望む。	
	暗いイメージ	街に活気がない。(商店・接客が劣っており赤平まで買いに行っている) 街の中が閑散として活気がない。 一人ひとりの道徳心が一番だと思う。(駅前が淋しい・暗い) 芦別の印象はまち並みが暗い。(仕事帰りに用をたすには不便で暗いイメージ)	
	その他	若年層(青年層)については、芦別への愛着度が弱い原因となり、まちづくり活動への不参加・非協力となって高齢者だけががんばる状態になっている。	